

世界の著名な特許にみる ————— 第19回

# 世紀の発明事業列伝

〈その思いつきが、時代を動かす〉

“からくり儀右衛門” こと田中久重 その6

～幕末明治期の産業科学技術遺産取材 ギエモンゆかりの地・久留米編～

久留米の歴史・田中久重像（JR久留米駅前広場・五穀神社・百年公園）・  
生誕の地（通町、寺町・田中家菩提寺/井上伝墓/今井栄墓）・久留米  
絣資料館・久留米城跡・有馬記念館・坂本繁二郎の生家・久留米か  
らくり振興会/古賀病院・久留米藩鑄造所跡・久留米藩製鉄所跡・八  
女福島灯籠人形/伝統文化館



芸術・科学・知財クリエイター・弁理士（雅号）

大樹 七海

## はじめに

先月8月号は、ギエモンゆかりの地である九州にて、「産業科学技術遺産」と「文化財遺産」の取材のため、初休載とさせて頂きました。

ギエモンのことを大切に守り続けておられる、生誕の地、「久留米」市の方々と、続いてギエモンが近代的科学技術者としての能力を開花させる「佐賀」を中心に、ギエモンの足跡と現代の私たちの未来をつないでいくための取材です。

偉大なギエモンを育んだものは、当地における、「文化的資産力」と「世界（時代）の

先読み力」と「志ある人の力」、という固有に持てる「知的資産力」です。この総合力無くして、それを理解せずして、偉人と云えども、その一人の人間の一生涯にて、成し遂げたことを語ることはできません。裏を返せば、そうした知的資産が整うとき、それを活かすことにより、現代においても、未来においても、「産業を興す偉人が生まれる」素地が揃うのです。

それではお待たせしました。今号9月号は、生誕～青年・壮年期の活躍地「久留米編」、次号は壮年期の活躍地「佐賀編」として、皆様を、偉人ギエモンを育んだ、九州へお連れいたします。

以下に付しました、参考「ギエモンゆかりの地とは」と「久留米時代の人生年表」をナビゲーションにお読み進め下さいませ。

### 参考 ギエモンゆかりの地とは

「ギエモンゆかりの地」は、大きく分けて4つあります。一つ目は生誕地にて青年期まで過ごした「久留米」。次に壮年期の活躍の地である「大阪・京都」。三つ目は中年期の活躍の地である「佐賀」、そして終端の地である「東京・銀座」です（表1参照）。

表1 ギエモン人生期・連載対応表

| 期                           | 年・時代・土地                              | 出来事                                             |
|-----------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 第一期<br>第11回<br>第12回<br>第14回 | ～20代半ば<br>(文化)<br>【久留米編】<br>～1830年前後 | 久留米から全国修行へ<br>からくり公演大成功                         |
| 第二期<br>第16回<br>第17回<br>第18回 | ～30代半ば<br>(文政)                       | 大阪移住「無尽灯」制作                                     |
|                             | ～40代半ば<br>(天保) 1840年前後<br>【大阪編】      | 不惑不屈の時代<br>「大塩の乱」で家財焼失                          |
|                             | ～50代半ば<br>(嘉永) 1850年前後<br>【京都編】      | 京都「機巧堂」開店<br>「近江大掾」称号<br>「万年時計」完成<br>蘭学塾「時習堂」入塾 |
| 第三期                         | ～60代半ば<br>(幕末) 1860年前後<br>【佐賀編】      | 佐賀藩任官・武士へ<br>蒸気車・蒸気船模型製作<br>日本初の実用蒸気船「凌風丸」建造    |
|                             | ～70代半ば<br>(幕末)<br>【久留米帰郷編】           | 佐賀・久留米藩、兼任                                      |
| 第四期                         | ～逝去<br>(明治) 1870年前後<br>【東京銀座編】       | 東芝創業                                            |
| 第五期                         | ～その後<br>(明治) 1880年前後                 | ギエモンの仲間達の活躍                                     |

表2 ギエモン・久留米時代の人生年表

| 和暦       | 西暦          | 年齢   | 出来事                            |
|----------|-------------|------|--------------------------------|
| 寛政11年    | 1800年       | 1歳   | 久留米城下・通町十丁目誕生                  |
| 文化4年     | 1808年       | 9歳   | 開かずの硯箱を製作                      |
| 文化10年    | 1813年       | 15歳  | 井上伝の絵舁用技法・機械考案                 |
| 文化14年    | 1817年       | 19歳  | 父・弥右衛門逝去                       |
| 文政2年     | 1820年       | 21歳  | 五穀神社でからくり披露                    |
| 文政7年     | 1825年       | 26歳  | 大坂・京都へ修行旅                      |
| 天保3～5年   | 1832年       | 34歳  | 灯籠人形制作<br>五穀神社祭礼中止             |
| 天保5年     | 1834年       | 36歳  | (大阪へ移住)                        |
| 弘化4～嘉永3年 | 1847年～1850年 | 49歳～ | (京都移住)                         |
| 安政1年     | 1854年       | 56歳  | (佐賀移住・次回連載予定)                  |
| 元治元年     | 1864年       | 66歳  | 久留米藩・佐賀藩兼任<br>久留米藩製造所完成        |
| 慶応2年     | 1866年       | 68歳  | 久留米帰住<br>今井栄と上海で蒸気船購入          |
| 慶応3年     | 1867年       | 69歳  | 今井栄とアーネストサトウ会合<br>自宅付近に久留米藩製鉄所 |
| 明治2年     | 1869年       | 71歳  | 南薫町に久留米製鉄所移転                   |
| 明治4年     | 1871年       | 73歳  | 久留米製鉄所閉鎖<br>自宅で様々な機器を制作        |
| 明治6年     | 1873年       | 75歳  | 家族と弟子とともに東京移住                  |

1～35歳、66～73歳が久留米での活動時期です。

## 1-1. いざ福岡県へ

### (1) 世界トップクラスのアクセス抜群な福岡空港

ギエモン取材のため九州に向かった筆者は、8月6日に東京羽田空港を立ち、なんと1時間45分ほどで、福岡空港に到着しました。



筆者撮影「発明事業列伝」では今後飛行機の発明も予定！

さて、福岡空港は、日本のみならず、「世界で最も都市に近い空港」と言われる空港で、世界的にみても極めてアクセス抜群な空港です。

福岡空港から地下鉄を使うと、陸の玄関「博多駅」までわずか5分、中心地「天神」までも11分という近さです。



出典：福岡空港ホームページ 福岡空港アクセス

福岡空港は、国内線だけで20を超える路線で約300便が運航され、羽田便は50往復運航しています。また、滑走路1本あたりの離発着数は年間約14万本で日本一です。

2023年度の日本の空港旅客数ランキング

(国内線+国際線)の第1位はダントツの羽田空港(約8,086万人)ですが、第2位に成田空港(約3,381万人)、第3位に関西空港(約2,580万人)、そして第4位に福岡空港(約2,494万人)が位置しており、福岡空港は過去最高の旅客数を記録しています。

現在2025年に滑走路が増設されるのに合わせ、約500億円かけて国際線ターミナルの増改築が行われており、免税店エリア等を増築し、施設規模が2倍となる計画です。

将来的には2048年度までに路線数を現在のおよそ2倍の100路線に増やし、旅客数3,500万人の目標を掲げ、東アジアでトップクラスの国際空港を目指している空港です。

アジアへのアクセスは、例えば韓国・釜山へは約50分、中国・上海へは最短は1時間45分、台湾・台北へは最短2時間35分で、インバウンドとアウトバウンドが期待されているのです！

### (2) 西鉄久留米駅

さて筆者は、この便利でお洒落な(TSUTAYAブックカフェラウンジもありました。本好きとしては要チェック。)福岡空港到着後、地下鉄空港線で、これまたレンガ造りでお洒落な地下街のある「天神駅」にて西鉄に乗り換えました。

ちなみに、天神駅地下街は、九州最大の繁華街で「てんちか」と呼ばれ親しまれています。てんちかは「劇場」をコンセプトとしており、薄暗い中に灯がともるムーディーな雰囲気醸しだしており、19世紀ヨーロッパの街並みをイメージして作られた地下街には、いくつもの美しいステンドグラスが飾られています。